

収入保険を支えに

農業経営を着実に

二十数年前に小麦の栽培を始めたころは、技術もなく播種後に覆土をすることを知らなかったために、思うように収量が上がりませんでした。現在では収穫量も安定して、品質の良い小麦を生産し続けられる技術が身につきました。そのうえ、

なお支えとなってくれるのが2020年から加入している収入保険制度です。

21年には、コロナ禍による米の価格低下に伴い、平年並の作柄でも価格が伴わない事態が発生しました。幸

いにも収入保険に加入していたので、大きなダメージを受けることなく、一年間が過ぎました。

以前、大豆で播種後の長雨により雨害湿潤害を受けたこともあり、昨年も以前ほどはひどくはなかったのですが、災害を受けました。

農業経営をする上では、収入保険制度は必要不可欠です。保険金の支払いは年度をまたがりますが、なるべく早期に補填してもらえ、ことに期待を寄せています。



野洲市

ひらなか

しげかず

平中 繁一さん(68歳)

【経営規模】

水稻6.3ヘクタール

小麦1.3ヘクタール

大豆1.3ヘクタール